



babystep初期メンバー 写真左が筆者

みんなで「次世代」を育てる社会を作ろう。



★こんにちは、babystepです！

わたし達babystepは家族や性の多様性を互いに尊重し、差別や偏見から自由になり楽しく子育てできる社会を目指します。同じく大阪YWCA会員の中村舞さん、栗田明日香さんで設立しました。

きつかけは、おしりふきのパッケージに書かれた「お母さん応援」の一文。当時、第一子が生後3か月だった私は、仕事に忙しい夫と育児中の私という状況でワンオペ育児（主にひとりでの育児を行うこと）でした。そんな中で、女性のみが子育てすることを前提としたこの一文を見たとき、私のワンオペ育児は、私と夫の問題であると同時に、そもそも社会の問題であると憤りを感じました。仲良しのお二人に愚痴をこぼしたところ、「愚痴だけでは社会は変わらない」と励まされ、「オムツ替えはママだけ?!」署名キャンペーンを立ち上げることにしたのです。4000名を超える賛同を得、おしりふきのパッケージから「お母さん応援」という記載は削除されました。

★babystepの活動を紹介します。

その後は数々の話し合いとバトルを繰り返して、育児のパートナーとなった私の夫や、共感してくれた新しい仲間も迎え、「今、読みたいジャンル」とらわれない絵本「育児のそと座談会」などの企画、男性トイレにおむつ交換台の設置を求めるキャンペーン「#俺のおむつ交換台」で1万7千名を超える署名を集めるなど活動を続けています。

babystepとして関西クイア映画祭さんに寄稿させて頂いたり、ひよこクラブに載せて頂いたり様々な出会いが

ありました。それまで不勉強だったフェミニズムやジェンダーについても学ぶなかで、私自身もマジョリティとして多くの特権を得、また多くの偏見を持っていることが少しずつ分かってきたように思います。今、「ワーママ」「専業主婦」「シンママ」「独女」：人々を分断させようとする言葉が飛び交っています。babystepにはさまざまなライフスタイルを送っているメンバーが集まっていますが、子どもがいない人も含めて、どのよう互いを尊重しあい、楽しく、次世代を育てていける社会をつくるのか考え続けていきたいです。



男性トイレに設置されたおむつ台

★新メンバーを募集しています！
babystepでは現在、乳児の育児をはじめ家族などが事前に育児・家事の分担について話し合うためのリーフレット・ベビーナップを作成し、全国の両親学級などで配布できるよう取り組んでいます。「やれる人がやりたい時に」をモットーに、仕事・家事・育児の合間時間を見つけてはオンラインのやりとりで活動しています。ご興味のある方はぜひTwitter @babystep\_repまでご連絡ください！

ぶどうの木
学童のいま
私の勤めている学童保育では新型コロナウイルス対策の一つとして室内でのマスク着用と手洗いを徹底しています。マスクは意外とすんなり定着したのですが、手洗いはなかなか上手になりません。苦肉の策として、手洗いに必要とされている30秒を体感するため30秒ゲームを継続して行いました。目をつぶって座り、自分の中で時間を測って30秒経ったと思ったら立ち上がるゲームで、30秒に一番近い子が勝ちです。子どもたちはこういった競争が大好きなので、喜んで毎回参加していました。残念ながら、効果は長続きしませんでした。子どもはじゃれて遊ぶのが基本です。密を避けろといわれても限界があります。そんな中で換気や消毒など、できる範囲での新しい生活様式を模索しているのが、今の学童の現状です。



# 大阪YWCA

11 2020

http://osaka.ywca.or.jp

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

## コロナ禍で深刻化する家庭内暴力について



弁護士 藤井 恭子

2020年4月7日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、全国で緊急事態宣言が発令されました。宣言発令中は外出自粛や在宅勤務が要請されていたため、多くの人は在宅時間が長くなり、その影響で家族間のストレス・緊張が高まり家庭内暴力(DV)が深刻化しているのでは、との懸念が広がっていました。
実際、今年4月・5月に全国の配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数は、昨年同月と比べて、約2〜3割増加したと報道されています。

関係がもともと良好ではない夫婦でも、仕事などで在宅時間が短ければ、お互い顔をつきあわずに済み、問題が表面化しないこともあります。ところが、外出自粛の影響で在宅時間が長くなり、ストレスが高まったことで、暴力や暴言といった形で夫婦間の問題が顕在化してしまうケースが多数出てきたのだと思います。
さらに、コロナ禍で経済活動が制限されたことで、企業の倒産や労働者の解雇が急増しています。

命の危険を感じる暴力に結びついてもおかしくないほど、家庭内でストレスが高まっていると言えます。
また、DVを受けている人からは、国民一人あたり10万円が支給される「特別定額給付金」について、世帯主である夫が家族全員分を申請し、それを妻に渡そうとしない、といった相談も寄せられています。
暴力・暴言だけでなく、生活費を渡さないといった「経済的DV」も、経済情勢が悪化している昨今、ますます深刻化しています。
DVは、当事者だけで解決することは非常に難しい問題であり、第三者の介入が必要です。
「自分はDVを受けているのでは」と感じたときは、まずは誰かに相談することで、第三者に知ってもらい必要が身近に相談できる人がいない場合は、内閣府が実施している24時間体制の電話・メール相談やチャット相談など、気軽に利用できる相談ツールもあります。
ただ、DV被害者の中には、長期間パートナーから人格否定をされ、自己の尊厳を失ってしまい「自分はDV被害者である」という自覚をすることすらできない人もいます。
家族や友人など周囲の人が、本人の言動に違和感を感じた時に、相談ツールにつながることで、解決への道が開けることもあります。
コロナ禍で、会って悩みを聞いたりすることが難しいかもしれませんが、「オンライン飲み会」の広がりなど、様々な形でつながることができるようになっています。
周りにいる大切な人について危険な兆候を感じた時にも、是非相談をしてみてください。

※DV相談 +
0120-1279-1889
https://soundplus.jp/

ふじい きょうこ
立命館大学大学院法務研究科専攻
大阪法律事務所在籍中

8月7日(金)、関西地区中高YWCA WebカンファレンスがZoomで行われました。6校(大阪女学院、同志社女子、広島女学院、ブルー学院、平安女学院、ルーテル学院)から中高生62名、顧問12名、日本YWCA・大阪YWCAから13名、合計87名



大阪YWCAからワークに参加するブルー学院のみさん

大阪YWCA女性エンパワメント推進チームで新たに「Rise Up School Visits」(以下、RUSV)という人権教育としての包括的な性教育を考えるプロジェクトチームが立ち上がりました。既に、他の地域YWCAでも同様のプロジェクトが始動しています。大阪YWCAでの第1回目のワークショップのテーマは「パートナーシップを考える」です。

グループによってはコロナ禍でオンラインでのコミュニケーションが増えたことを受け、オンラインとオフラインでどのように気をつける点があるか話し合ったグループもあり、私たちが事前に予想していたよりも皆さんの面

が参加しました。前半は、開会礼拝や各学校の紹介が行われ、後半はRUSVから中高生に向けてワークショップを行いました。

子どもが言うことを聞かずにイライラしているお母さんに、「そういう時は歌でも作って笑いにしましょう。歌や笑いは、自分も相手も幸せになれます。歌う気にならない時ほどやってみてください。」と松井先生。イライラしている時こそ、笑いに変わる。コロナ禍で人との関係がギクシヤクしている今、子育てに限らず全てに通じる幸せなメッセージです。

【協力ありがとうございます】  
20/8/1~20/9/30 敬称略順不同  
賛助費  
有田 悦子 井口 和子 池田 洋子  
伊藤 景子 内坂 晃 江尻美穂子  
越後 靖子 大川 哲次 大空美矢子  
大草美保子 落合 保子 加輪上敏彦

【RUSVプロジェクト長】  
秋田 美空

### クリスマスバザー

クリスマスバザーは、感染予防対策に配慮しながら、規模を縮小して実施致します。

日時: 12月5日(土) 10:30~12:30

場所: 大阪YWCA本館

【ご来場の際の注意事項】

- ・入口で検温・消毒を行います。
- ・マスクを着用の上ご来場ください。
- ・お客様の人数によっては入場制限を行います。
- ・食堂・喫茶コーナーはありません。

【ご寄贈品について】

- ・ご寄贈品は新品のみ受付けております。
- ・リサイクル衣料は受付できません。

【報告】▼こども部 11/8 野外活動「やきいも大作戦」

【協議】□全国総会について

【2】4市Y合同ミーティング

【3】クリスマスバザーについて



RUSVは世界YWCAが発行した「Global Rise Up Guide」の理念に基づき、ユネスコが定める国際性教育ガイドラインに則った「人権教育としての性教育」を提供するプロジェクトです。その目的の一つは、性と生殖に関する健康と権利を知ること始まり、自分と他者の人権を理解すること、これからの人生でパートナーシップ(人と人との関係)においての自分のリーダーシップ(意思決定の力)を発揮することの大切さを伝えることです。今回のワークショップではその入門編として、中高生にとって身近なパートナーシップについて

考えてもらい、より良いパートナーシップを築くにはどうすれば良いかを考える機会としました。

まずは、良いパートナーシップとは何か、例を紹介しながら解説しました。次に、自分自身のパートナーシップについてワークシートに記入してもらい、それを参考にしながらグループに分かれて、よいパートナーシップを築くために何ができるか、何を意識すればよいかについてディスカッションを行いました。実際に友人と話す時に気を付けていることを話してくれたら、自分にとって安心できる人を具体的に挙げ、その人のどのような姿勢が安心するのかを考察して貰ったり、自分が人を傷つけてしまった経験の反省をして貰ったりと、それぞれが自分自身の経験や今の人間関係を振り返りながら話してくれた様子が伺えました。

### 良いパートナーシップって? (例)

Examples of Good Partnership

- ・立場以上の優劣や上下のないこと
- ・お互いの間にセーフスペースがあること
- ・しっかりとコミュニケーションと同意(コンセンサス)ができていること など...

あくまでも一例です。他にはどんなことがあるかな?

ワークで使用したスライド。例を元にみんなで考えました。

- 貴志 慶子 岸田善三郎 旦下部真知子 村上 和子
- 國里 順子 栗本丹志貴 小林 直子 千里
- 小林千重子 後藤ゆかり 佐藤 朋子 村松 通子
- 西条 哲 沢田 陽子 関根 久子
- 芹野 恵美 高木 裕子 田中 英子
- 谷川 毅 檀上 忠子 辻 朋宏 宮崎 祐 宗像千代子
- 都本 直文 豊島 博子 中川佐知子
- 中島 重徳 中島 淑子 中山ゆかり
- 西名 貞子 端野 昌宏 波田 則子
- 平柳 圭甫 藤井 保男 藤原 智子
- 藤原裕美子 古谷 桂子 松江 訓子
- 松田美代子 松田 慶子 松田真理子
- 松下 宣代 南 憲明 宗像千代子
- 望月 文子 安原みゆき 山東 史子
- 山本 昌子 山崎久美子 吉井 知加
- 吉田佳代子 吉田 耕平 匿名3名
- 大阪商工会議所
- 株式会社サンカラシッピング
- ワッコ株式会社
- 【募金】
- 20口 129,000円
- 【会員維持費】
- 白井 邦子 中山 光世 西本 照子
- 本田 芳子

コロナ禍の今こそ、たいせつにしたい

シャロン千里  
こども館

## 親子でいきいきリレーションシップ



親子でいきいきリレーションシップは、「からだどこころの出会いの会」の松井洋子先生のもと、親子体操、グループワーク、子どもの遊びを通じて、子育てに悩むお母さん達が共感しあい、つながりを築き、エンパワーされることにより、笑顔で子育てができるようサポートするプログラムです。

コロナ自粛で4ヶ月間休会となりました。誰とも会えない、家には夫がいる、子どももずつといる。報道でもあるように、コロナ禍で虐待や自殺が増えている中、お母さん達にとつても過酷な時間となりました。

7月より、グループを2つに分けて密を避けてのプログラム再開となりました。コロナ禍の今こそ、このプログラムが必要と感じ、自粛中孤独に頑張ってきたお母さん達へのケアをより一層深めました。その傍らには、記録をとりながら涙を流し、子どもたちにも愛情たっぷり関わり、お母さん達を心から応援するボランティアさんの姿もあり

親子でいきいきリレーションシップは、「からだどこころの出会いの会」の松井洋子先生のもと、親子体操、グループワーク、子どもの遊びを通じて、子育てに悩むお母さん達が共感しあい、つながりを築き、エンパワーされることにより、笑顔で子育てができるようサポートするプログラムです。

コロナ自粛で4ヶ月間休会となりました。誰とも会えない、家には夫がいる、子どももずつといる。報道でもあるように、コロナ禍で虐待や自殺が増えている中、お母さん達にとつても過酷な時間となりました。

7月より、グループを2つに分けて密を避けてのプログラム再開となりました。コロナ禍の今こそ、このプログラムが必要と感じ、自粛中孤独に頑張ってきたお母さん達へのケアをより一層深めました。その傍らには、記録をとりながら涙を流し、子どもたちにも愛情たっぷり関わり、お母さん達を心から応援するボランティアさんの姿もあり



親子体操で、からだどこころもほぐします

子どもが言うことを聞かずにイライラしているお母さんに、「そういう時は歌でも作って笑いにしましょう。歌や笑いは、自分も相手も幸せになれます。歌う気にならない時ほどやってみてください。」と松井先生。イライラしている時こそ、笑いに変わる。コロナ禍で人との関係がギクシヤクしている今、子育てに限らず全てに通じる幸せなメッセージです。

今はお母さん達に笑顔が戻ってきました。松井先生の言葉をすぐに実践し、子育てに奮闘しながら成長していく姿がとて眩しく、心から応援したい気持ちでいっぱいです。

(会員 北田 真理子)

### わたしのイチオシ! 映画「アイヌモシリ」

北海道の阿寒湖

北海道阿寒湖の集落アイヌコタンで暮らす少年カイト。彼の成長を通して、現代のアイヌ民族のリアルな姿を瑞々しく映し出している。主人公のカイトやその他の主要キャストもアイヌが本人役で出演している。「映画はその作品が作られる事で少しでも社会に良い影響があるんじゃないかと信じられるもの。そういう題材を出来るだけ見つけてやりたい。その鑑賞体験が思いやりを動かすと思う (監督:福永壮志)」

(編集部)

岐阜県のある合唱団の男性が新型コロナウイルスに感染したというニュースが流れたのは、今年の3月頃だった。その直後おつれあいにも感染が分かり、しばらくしてご夫婦とも相次いで亡くなったとの報に接した。数ヶ月後、ある合唱仲間から、そのご夫婦の家が今は取り壊されて更地になっていること、同居していた娘さんが自殺されたらしい、という胸の痛む話を聞かされた絶句した。誹謗中傷や嫌がらせ等があったであろうことは想像に難くない。

イタリア人の作家パオロ・ジオルダノは、著書「コロナの時代の僕ら」(早川書房)で言う。「恐怖は人に奇妙な振る舞いを取らせる。一中略一今、僕たちが直面している状況では、

ありとあらゆる反応が予見される。怒る者もあれば、パニックにおちいる者もあるだろう。冷淡な反応もあれば、シニカルな反応もあり、信じられないと思う者もあれば、あきらめる者もあるだろう。その点を心に留めて、普段よりも少しひとに優しくしよう」と。

コロナによって世界中が不安定で不安な状況にある中、彼の言うように、普段よりも少しひとに優しくできる自分でありたいと思った。

彼はこうも言う。「感染症とは僕らのさまざまな関係を侵す病だ」とも。少しの優しさの集まりが、私たちの日頃の関係を決して壊さない力になることを信じていたい。

(会員 谷川 いづみ)

### 藤木工務店

未来へ—安心を創る

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10  
ニッセイ備後町ビル1階 TEL06-4964-8700

### 株式会社 オフィスインテリア

オフィスの移転・改装 / ショップの新装改装

大阪オフィス 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 4-1-10  
TEL: 06 (6351) 8830(代)  
FAX: 06 (6351) 8840  
http://www.office-interior.net

東京オフィス 〒135-0023 東京都江東区平野 3-4-1  
藤和テイクコーポ木場公園 101号  
TEL: 03 (5875) 8315  
FAX: 03 (5875) 8316